

# 子どもたちの健やかな学びのために

～本市のめざす幼・保・小連携の姿～

子どもたちの成長は、家庭から幼稚園・認定こども園・保育所、小学校へと続いていきます。それぞれ校種間の違いはありますが、子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは全ての教職員の願いです。学びや発達が円滑に接続していくよう、幼稚園・認定こども園・保育所と小学校の連携が必要です。

## 家庭

生活の基盤 子どもの心の安定

### 幼稚園・認定こども園・保育所

各園においては、「生きる力の基礎」を育むため、次に掲げる資質・能力を、遊びを通じた総合的な指導の中で一体的に育んでいます。

#### 知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする



#### 思考力・判断力・表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする



#### 学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする



### 小学校

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を育みます。

#### 生きて働く「知識・技能」の習得

何を理解しているか  
何ができるか



#### 未知の状況にも対応できる

「思考力・判断力・表現力等」の育成  
理解していること・できることをどう使うか



#### 学びを人生や社会に生かそうとする

「学びに向かう力・人間性等」の涵養  
どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか



### 幼児期の終わりまでに育って欲しい姿

- (1)健康な心と体
- (2)自立心
- (3)協同性
- (4)道徳性・規範意識の芽生え
- (5)社会生活との関わり
- (6)思考力の芽生え
- (7)自然との関わり・生命尊重
- (8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- (9)言葉による伝え合い
- (10)豊かな感性と表現

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導の工夫

特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行います。



### 【相模原 幼・保・小連携の柱】

相模原市では、幼・保・小連携を推進していくにあたり、園・学校が共通理解を図るために、接続期に大切にしたいこと・育みたい力を明確にしました。



接続期において、「生活をつくる力」「学びをつくる力」「かかわりをつくる力」の3つの力を特に重要な視点と捉えています。この3つの視点を意識して、子どもの育ちを捉え、交流活動や接続期カリキュラムに生かしていくことが大切です。

